ヨド物置 エルモ シャッター

連棟型〈床タイプ〉組立説明書 LOD(S)-2918HF型・2922HF型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずご確認ください。
また「取扱説明書」「保証書」は大切な書類ですので、施工完了後、必ずお客様へお渡しください。

※この組立説明書は2922HF×2連棟の図で説明しています。3連棟以上の場合、2918の場合も組立手順は同じです。よくご確認の上、組立を行ってください。（組立は専門業者にご依頼ください。）

●設置場所の制限

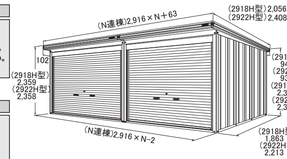
△注意

1.建物の屋上には設置しないでください。
2.バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
3.大屋根からの雨、雪等が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
4.屋のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
5.給湯器の前には設置しないでください。

●施工前の注意点

△注意

1.アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
2.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
3.重い部材、梱包の運搬や屋付の際は2名以上で行ってください。
4.組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
5.風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
6.高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。



〈寸法の単位はmm〉

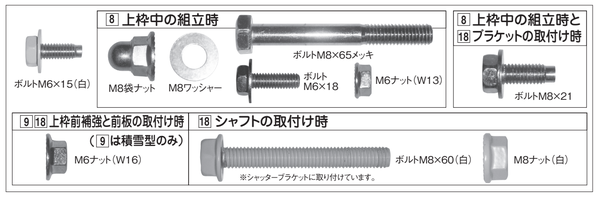
鍵は、シャッタースラットの裏面に貼り付けてあります。

●施工時の注意点

1.まず御注文通りの商品かどうかを梱包組合せ表・梱包内容表にて確認してください。
2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立てください。
3.部材名称の左・右は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
※シャッターの部材名称は室内側から見ての左右となりますので間違えないように取り付けてください。
4.部材の組立は、ボルトの孔に合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。
5.組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。
6.シャッター部材の取付けについては各工程に注意事項を記載しておりますので、よくお読みの上、組立を行ってください。

●組立に必要なもの（事前にご準備ください。）
・軍手・水準器・脚立・M6・M8ボルト・アンカーボルト締結用のスパナ又はモンキー、ペンチ等工具、サゲフリ
・アンカーボルトW1/2×210ℓ、ナット×2、ワッシャー（オプションの設定もございます。）

●使用ビス一覧（各工程の使用ボルト数に特に記載がない場合は、M6×15（白）を使用します。）



梱包組合せ表

機種		2918型 基本梱包	2918型 追加梱包	2922型 基本梱包	2922型 追加梱包
部品		L05-0163	L05-6153	L05-0163	L05-6153
枠 上枠前後	一般	L05-0207	L05-0207	L05-0207	L05-0207
	積雪	L05-0227	L05-0227	L05-0227	L05-0227
枠 下枠前後		L05-0257	L05-0257	L05-0257	L05-0257
枠 上枠左右 上枠中間	一般	L05-0304	L05-1604	L05-0305	L05-1605
	積雪		L05-1634		L05-1635
枠 下枠左右 下枠中		L05-0354	L05-6354	L05-0355	L05-6355
柱		L05-0413	L05-6413	L05-0413	L05-6413
間柱		L05-1456	-	L05-1458	
鼻隠し		L05-1107	L05-1107	L05-1107	L05-1107
補強	一般型	L05-0551	L05-0551	L05-0551	L05-0551
		L05-0552	L05-0552	L05-0552	L05-0552
	積雪型	L05-3551	L05-3551	L05-3551	L05-3551
		L05-3552	L05-3552	L05-3552	L05-3552

機種		2918型 基本梱包	2918型 追加梱包	2922型 基本梱包	2922型 追加梱包
床		L05-0717	L05-0717	L05-0722	L05-0722
		L05-0717	L05-0717	L05-0722	L05-0722
屋根		L05-0931	L05-0931	L05-0941	L05-0941
		L05-0931	L05-0931	L05-0941	L05-0941
壁		L05-1014	L05-1014	L05-1013	L05-1014
		L05-1014	-	L05-1013	-
		L05-1032	-	L05-1014	-
シャッター		L05-1761	L05-1761	L05-1761	L05-1761
		L05-1762	L05-1762	L05-1762	L05-1762
棚板		L05-1903	L05-1903	L05-1903	L05-1903
合計	一般型	20	17	20	17
	積雪型	20	17	20	17

梱包内容表

●部品
LO5-0163 2918・2922

部材名	数量
ボルトM6×15(白)	242(12)
ボルトM8×21	5(1)
ナットM6-16用	5(1)
ELD 屋根隅間隔しA	3
ELD 屋根隅間隔しB	1
EL 形前連結金具	1
ELD 内アンカー金具 (A)	4
ELD 内アンカー金具 (L)	4
ELD 内アンカー名盤ザシール	1
組立説明書	1
取扱説明書	1
保証書 5年	1

※( )内は予備

LO5-6153 2918・2922

部材名	数量
ボルトM6×15(白)	206(11)
ボルトM8×21	5(1)
ナットM6-16用	5(1)
LOD 下枠接続金具 YK 前中	1
LOD 下枠接続金具 YK 後中	1
ELD もや取付金具	4
KM 扉 間柱取付金具	2
ELD 屋根隅間隔しA	3
ELD 屋根隅間隔しB	1
EL 形前連結金具	1
ELD 鼻隠し側接続金具	1
ELD 鼻隠し側連結化粧	1
LOD 下枠中カバー前	1

※( )内は予備

●上枠前後
LO5-0207 2918・2922

部材名	数量
LOD 上枠前 A4.0	1
ELD 上枠後 A4.0	1

LO5-0227 2918・2922

部材名	数量
LOD 上枠前 A4.0	1
ELD 上枠後 A4.0	1
LOD 上枠前補強 A4.0S	1

●下枠前後
LO5-0257 2918・2922

部材名	数量
LOD 下枠前 YK A4.0	1
ELD 下枠後 A4.0	1
ELD 床押え A4.0	2

●上枠左右
LM5-0304 2918

部材名	数量
ELD 上枠左 A2.5	1
ELD 上枠右 A2.5	1

LM5-0305 2922

部材名	数量
ELD 上枠左 A3.0	1
ELD 上枠右 A3.0	1

●上枠中間
LM5-1604 2918

部材名	数量
ELD 上枠中 右 A2.5	1
ELD 上枠中 左 A2.5	1
ELD 屋根連結材 A2.5	1
ELD 上枠中受け金具 前右	1
ELD 上枠中受け金具 前左	1
ELD 上枠中受け金具 後右	1
ELD 上枠中受け金具 後左	1
ボルトM6×65	7
袋ナット M8-17用	10
平ワッシャーM8.5×18×1.6	7
ナットM6-13用	7(1)

※( )内は予備

LM5-1605 2922

部材名	数量
ELD 上枠中 右 A3.0	1
ELD 上枠中 左 A3.0	1
ELD 屋根連結材 A3.0	1
ELD 上枠中受け金具 前右	1
ELD 上枠中受け金具 前左	1
ELD 上枠中受け金具 後右	1
ELD 上枠中受け金具 後左	1
ボルトM8×65	7
袋ナット M8-17用	10
平ワッシャーM8.5×18×1.6	7
ナットM6-13用	7(1)

※( )内は予備

LM5-1634 2918

部材名	数量
ELD 上枠中 右 A2.5S	1
ELD 上枠中 左 A2.5S	1
ELD 屋根連結材 A2.5	1
ELD 上枠中受け金具 前S右	1
ELD 上枠中受け金具 前S左	1
ELD 上枠中受け金具 後S右	1
ELD 上枠中受け金具 後S左	1
ボルトM8×65	7
袋ナット M8-17用	12
平ワッシャーM8.5×18×1.6	9
ボルトM8×21	3
ボルトM6×18	7(1)
ナットM6-13用	7(1)

※( )内は予備

LM5-1635 2922

部材名	数量
ELD 上枠中 右 A3.0S	1
ELD 上枠中 左 A3.0S	1
ELD 屋根連結材 A3.0	1
ELD 上枠中受け金具 前S右	1
ELD 上枠中受け金具 前S左	1
ELD 上枠中受け金具 後S右	1
ELD 上枠中受け金具 後S左	1
ボルトM8×65	9
袋ナット M8-17用	12
平ワッシャーM8.5×18×1.6	9
ボルトM8×21	3
ボルトM6×18	7(1)
ナットM6-13用	7(1)

※( )内は予備

●下枠左右
LM5-0354 2918

部材名	数量
ELD 下枠前 A2.5 左	1
ELD 下枠前 A2.5 右	1

LM5-0355 2922

部材名	数量
ELD 下枠前 A3.0 左	1
ELD 下枠前 A3.0 右	1

●下枠中
LO5-6354 2918

部材名	数量
LOD 下枠中 A2.5	1

LO5-6355 2922

部材名	数量
LOD 下枠中 A3.0	1

●柱
LO5-0413 2918・2922

部材名	数量
ELD 柱前 YK 左	1
ELD 柱前 YK 右	1
ELD 柱後 H	2
ELD 間柱後 L	3
LOD 柱前補強カバー YK 左	1
LOD 柱前補強カバー YK 右	1

LO5-6413 2918・2922

部材名	数量
LOD 中柱前 YK	1
LOD 中柱後 YK	1
ELD 間柱後 H	3
LOD 中柱前補強カバー YK 左	1
LOD 中柱前補強カバー YK 右	1

●間柱
LM5-1456 2918

部材名	数量
ELD 間柱 側板 2.5H	2
ELD 間柱 側後 2.5H	2

LM5-1458 2922

部材名	数量
ELD 間柱 側板 3.0H	2
ELD 間柱 側後 3.0H	2

●鼻隠し
LM5-1107 2918・2922

部材名	数量
ELD 鼻隠し前 A4.0	1
ELD 鼻隠し後 A4.0	1

●補強
LM5-0551 2918・2922

部材名	数量
ELD もや C-A4.0 DLN	1
ELD 床補強 A4.0	1

LM5-0552 2918・2922

部材名	数量
ELD もや C-A4.0	1
ELD 床補強 A4.0	1

LM5-3551 2918・2922

部材名	数量
ELD もや C-A4.0SW DLS	1
ELD もや D-A4.0S	1
ELD 床補強 A4.0	1

LM5-3552 2918・2922

部材名	数量
ELD もや C-A4.0SW	1
ELD もや D-A4.0S	1
ELD 床補強 A4.0	1

●床
LM5-0717 2918

部材名	数量
ELD 床板 A2.5	4

LM5-0722 2922

部材名	数量
ELD 床板 A3.0	4

●屋根
LM5-0931 2918

部材名	数量
ELD 屋根 (70) A2.5	2

LM5-0941 2922

部材名	数量
ELD 屋根 (70) A3.0	2

●壁
LM5-1013 2922

部材名	数量
ELD 壁パネル H-A	3

LM5-1014 2918・2922

部材名	数量
ELD 壁パネル H-A	4

LM5-1032 2918

部材名	数量
ELD 壁パネル H-F	2

●シャッター
LO5-1761 2918・2922

部材名	数量
シャッタースラット A4.0 <床> (有孔3個、スラット9枚付)	1
LOD シャッターレール YK 左	1
LOD シャッターレール YK 右	1
シャッターブラケット 左	1
シャッターブラケット 右	1
フック棒 L=600mm	1
LOD 前板 A4.0	1

LO5-1762 2918・2922

部材名	数量
外観付スラット A4.0 (床) (スラット14枚、外観付スラット1枚)	1
水切り付スラット A4.0 (床) (スラット9枚、手掛付スラット1枚)	1

●棚板
LM5-1903 2918・2922

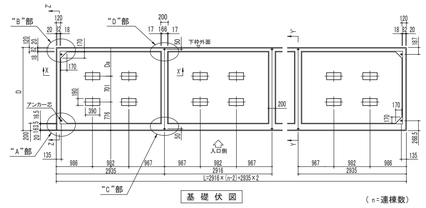
部材名	数量
ELC 棚板 A2.0N	2
ELC 棚受 N 左	3
ELC 棚受 N 右	3

○部材名称にはA2.5、A3.0、A4.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略しております。
○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。

1 基礎施工例（参考図）

参考図は当社のホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。

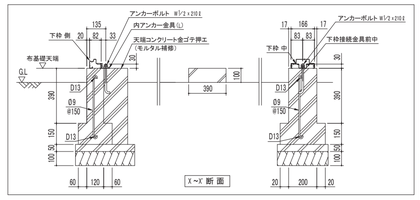
△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の状況（基準風速・凍上による不陸など）にあわせて設計・施工してください。

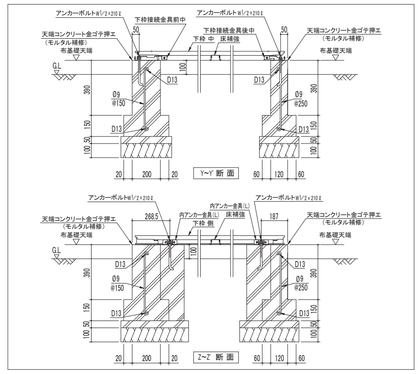


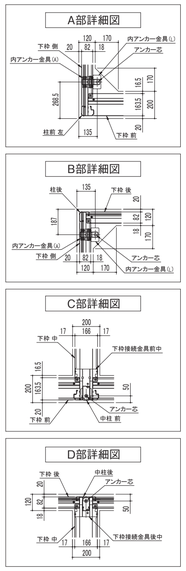
〈参考図の設計条件〉
地耐力50kN/m²
コンクリート設計基準強度
18kN/m²以上
基準風速34m/s
地表面粗度区分Ⅱ

機種	D	Da
LOD(S)-2918H	1,902.5	425.5
LOD(S)-2922H	2,253	776

（n=連棟数）



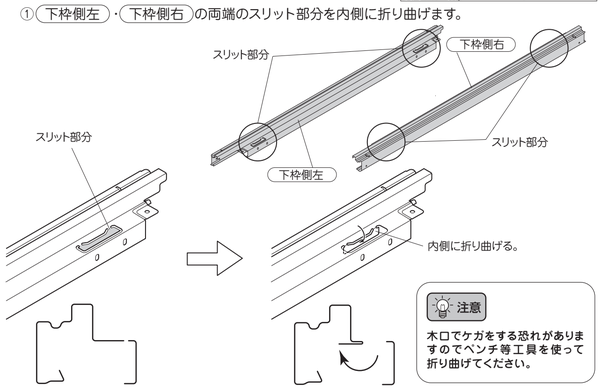




2 前工程

	2918型	2922型
使用梱包	LM5-0354	LM5-0355
使用ボルト数	0本	

① 下枠側左 ・ 下枠側右 の両端のスリット部分を内側に折り曲げます。

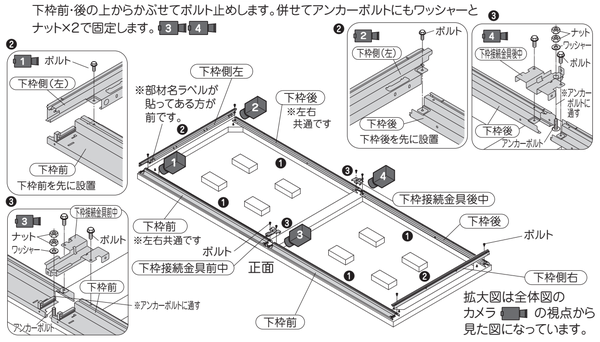


注意
木口でケガをする恐れがありますのでペンチ等工具を使って折り曲げてください。

3 下枠の組立（その1）

	2918型	2922型
使用梱包	LO5-6153	
	LO5-0257	
	LM5-0354	LM5-0355
使用ボルト数	8本	

① 下枠前 ・ 下枠後 を基礎の上に設置します。
② 下枠側左 を下枠前・後の上から設置してボルト止めします。1 2
③ 下枠接続金具前中 、 下枠接続金具後中 のひし形の孔を基礎のアンカーボルトに通し、下枠前・後の上からかぶせてボルト止めします。併せてアンカーボルトにもワッシャーとナット×2で固定します。3 4



拡大図は全体図のカメラ 1 の視点から見た図になっています。

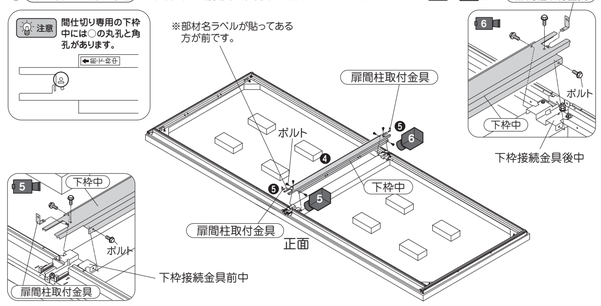
3 下枠の組立（その2）

	2918型	2922型
使用梱包	LO5-6153	
	LO5-6354 (LO5-2155)	LO5-6355 (LO5-2156)
使用ボルト数	6本	

( )は間仕切りを取付ける場合

注意 オプションの間仕切りを取付ける場合は、間仕切り専用の下枠中を設置してください。

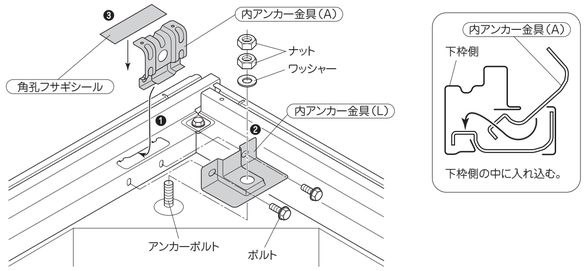
④ 下枠中 を下枠接続金具前中・後中の上からかぶせて側面をボルト止めします。
⑤ 扉間柱取付金具 を下枠中の前後の角孔に通してボルト止めします。5 6



4 アンカーボルトの固定（両側面のみ）

	2918型	2922型
使用梱包	LO5-0163	
使用ボルト数	8本	

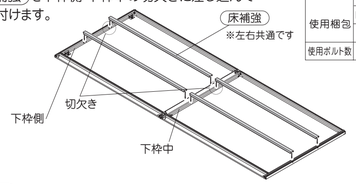
① 内アンカー金具（A） を下枠側の前工程で加工した穴から差し込んで下枠側の中に入れ込みます。（4か所）
② 内アンカー金具（L） をアンカーボルトに通してボルト止めします。
併せてアンカーボルトにもワッシャーとナット×2で固定します。
③内アンカー金具（A）を差し込んだ穴を付属の 角孔フサギシール を貼り付けて塞ぎます。



5 床の設置

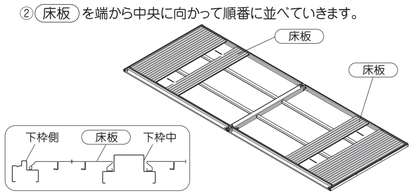
	2918型		2922型	
	一般型	積雪型	一般型	積雪型
使用梱包	LM5-0551	LM5-3551	LM5-0551	LM5-3551
	LM5-0552	LM5-3552	LM5-0552	LM5-3552
	LM5-0717		LM5-0722	
使用ボルト数	0本			

① 床補強 を下枠側・下枠中の切欠きに差し込んで取り付けます。



注意
床補強（オプション）を取付ける場合は、「床補強（オプション）」の組立説明書をあわせてご確認ください。

② 床板 を端から中央に向かって順番に並べていきます。



注意
床板が下枠前後に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。

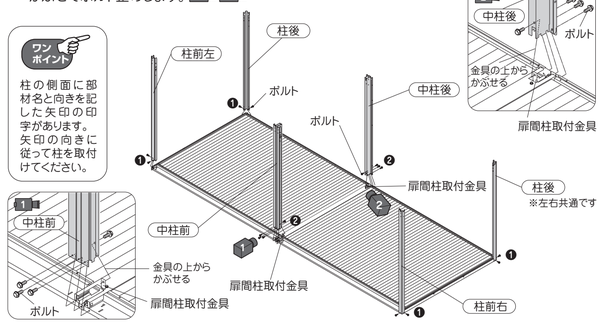
6 柱の取付

△注意 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

	2918型	2922型
使用梱包	LO5-0413	
	LO5-6413	
使用ボルト数	16本	

① 柱前左右 ・ 柱後 を下枠の4隅の切欠きに差し込んでボルト止めします。
② 中柱前 ・ 中柱後 を工程③で固定した扉間柱取付金具の上からかぶせてボルト止めします。1 2

ワンポイント
柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。矢印の向きに従って柱を取付けてください。

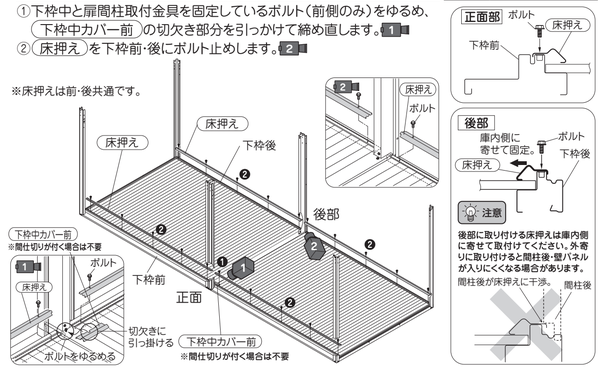


7 下枠中カバー前・床押えの取付け

	2918型	2922型
使用梱包	L05-6153	
	L05-0257	
使用ボルト数	20本	

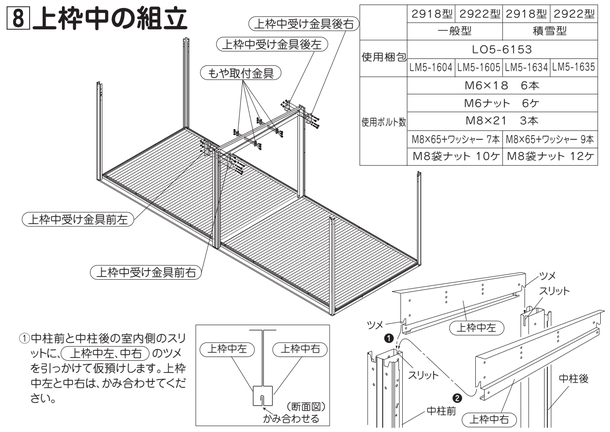
注意 オプションの間仕切りを取付ける場合は、下枠中カバー前は取付けません。下記工程の1は不要です。

① 下枠中と扉間柱取付金具を固定しているボルト（前側のみ）をゆるめ、下枠中カバー前 の切欠き部分を引っかけて締め直します。1
② 床押え を下枠前・後にボルト止めします。2



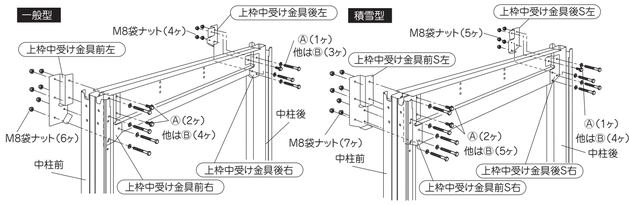
8 上枠中の組立

	2918型	2922型	2918型	2922型
	一般型		積雪型	
使用梱包	L05-6153			
使用ボルト数	LM5-1604	LM5-1605	LM5-1634	LM5-1635
	M6×18 6本			
	M6ナット 6ケ			
	M8×21 3本			
	M8×65+ワッシャー 7本		M8×65+ワッシャー 9本	
	M8袋ナット 10ケ		M8袋ナット 12ケ	

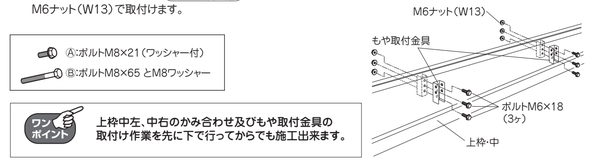


①中柱前と中柱後の室内側のスリットに、上枠中左、中右 のツメを引っかけて仮預けします。上枠中左と中右は、かみ合わせてください。

②上枠中と中柱前を、上枠中受け金具前右（左） ではさんで、ボルト（M8×65）・M8袋ナット・M8ワッシャーで固定します。上枠中と中柱後も同様に固定してください。※一般型と積雪型とで金具形状およびボルト類使用数が異なります。



③上枠中の3つ孔に、両側から もや取付金具 をボルト（M6×18）とM6ナット（W13）で取付けます。



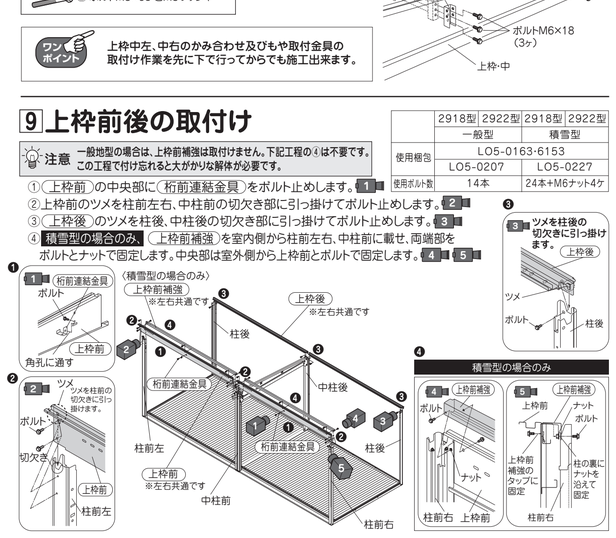
ワンポイント
上枠中左、中右のかみ合わせ及びもや取付金具の取付け作業を先に下で行ってからでも施工出来ます。

9 上枠前後の取付け

注意 一般地型の場合は、上枠前補強は取付けません。下記工程の4は不要です。この工程で付け忘れると大がかりな解体が必要です。

	2918型	2922型	2918型	2922型
	一般型		積雪型	
使用梱包	L05-0163-6153			
	L05-0207		L05-0227	
使用ボルト数	14本		24本+M6ナット4ケ	

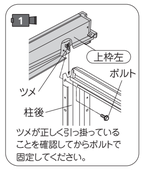
① 上枠前 の中央部に、桁前連結金具 をボルト止めします。1
②上枠前のツメを柱前左右、中柱前の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。2
③ 上枠後 のツメを柱後、中柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。3
④ 積雪型の場合のみ、上枠前補強 を室内側から柱前左右、中柱前に載せ、両端部をボルトとナットで固定します。中央部は室外側から上枠前とボルトで固定します。4 5



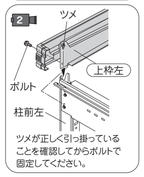
10 上枠左右の取付け

	2918型	2922型
使用梱包	LM5-0304	LM5-0305
使用ボルト数	4本	

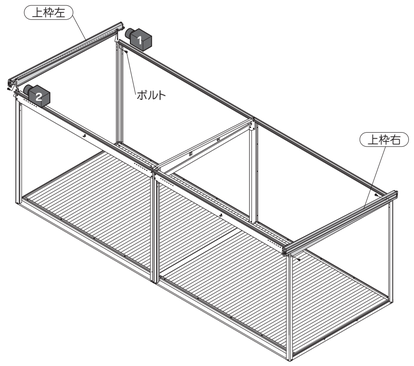
①（上枠左）・（上枠右）を柱に取付けます。1 2



ツメが正しく引っ掛っていることを確認してからボルトで固定してください。



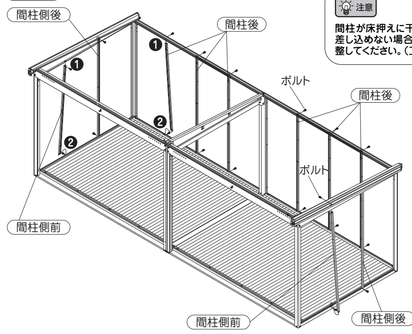
ツメが正しく引っ掛っていることを確認してからボルトで固定してください。



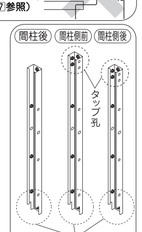
11 間柱側・後の取付け

	2918型	2922型
使用梱包	LM5-1456	LM5-1458
	LO5-0413	
	LO5-6413	
使用ボルト数	20本	

①（間柱後）の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
②（間柱側）も同様にして取付けます。



注意
間柱が床押えに干渉して下枠に差し込めない場合は床押えを調整してください。（工程⑦参照）



※下部側面に部材名の印字があります。

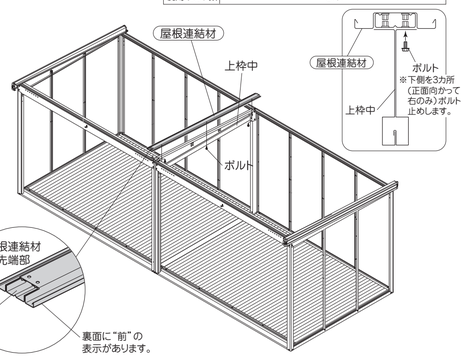
12 屋根連結材の取付け

	2918型	2922型	2918型	2922型
	一般型		積雪型	
使用梱包	LM5-1604	LM5-1605	LM5-1634	LM5-1635
使用ボルト数	3本			

①（屋根連結材）を上枠中に取付けます。

注意
電動工具が使いにくい場所をボルト止めしますのでスパナ等を使って手でボルトを締め付けてください。

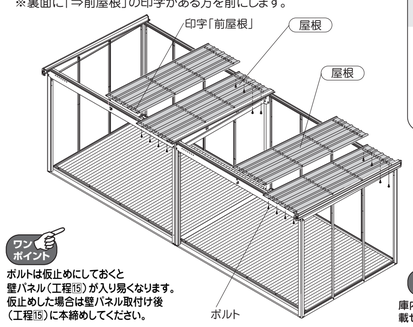
注意
屋根連結材には前後がありますので注意してください。



13 屋根の取付け

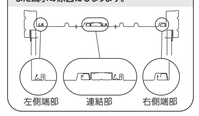
	2918型	2922型
使用梱包	LM5-0931	LM5-0941
使用ボルト数	64本	

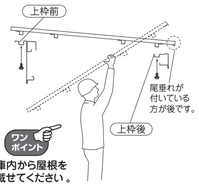
①（屋根）を連結部の右側、左側それぞれ右端から順番に載せて上枠前、上枠後にボルト止めします。
※裏面に"⇒前屋根"の印字がある方を前にします。



ワンポイント
ボルトは仮止めにしておくと壁パネル（工程⑮）が入り易くなります。仮止めした場合は壁パネル取付け後（工程⑮）に本締めしてください。

⚠注意
屋根は正しく重ねてください。正しく重ねないとボルトの固定孔が合わなくなります。また漏水の原因にもなります。





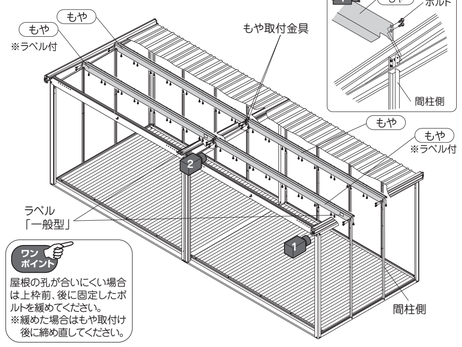
ワンポイント
庫内から屋根を載せてください。

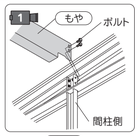
14-A もやの取付け ●一般型の場合

	2918型	2922型
使用梱包	LM5-0551	
	LM5-0552	
使用ボルト数	80本	

①（もや）を正面から間柱側に載せてボルト止めします。1 2
②（もや）と屋根をボルト止めします。

注意
（もや）は4本共同じ形状です。一番前には「一般型」のラベルが貼りつけてある（もや）を取り付けてください。



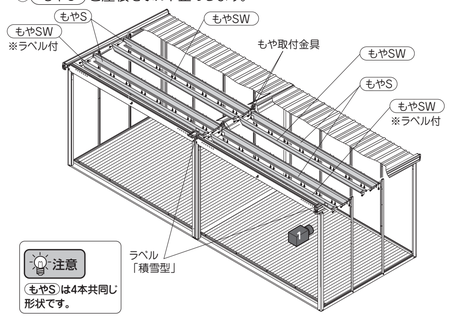


ワンポイント
屋根の孔が合いにくい場合は上枠前、後に固定したボルトを緩めてください。
※緩めた場合はもや取付け後に締め直してください。

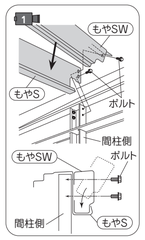
14-B もやの取付け ●積雪型の場合

	2918型	2922型
使用梱包	LM5-3551	
	LM5-3552	
使用ボルト数	80本	

①（もやS）を正面から間柱側、もや取付金具に載せて下側の孔をボルト止めします。1
②正面から（もやSW）を（もやS）に落としこみボルト止めします。1
③（もやS）と屋根をボルト止めします。



注意
（もやS）は4本共同じ形状です。



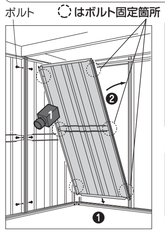
注意
（もやSW）は4本共同じ形状です。一番前には「積雪型」のラベルが貼りつけてある（もやSW）を取り付けてください。

15 壁パネルの取付け

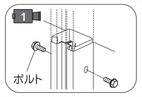
	2918型	2922型
使用梱包	LM5-1014	LM5-1013
	LM5-1032	LM5-1014
使用ボルト数	78本	

①室内から（壁パネル）をはめ込みます。（下を先に入れて上をはめ込みます。）
②柱・間柱にボルト止めします。1
※柱前左右とはボルト止めしません（工程㉑で固定します）。

注意
ボルト固定しないと倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。

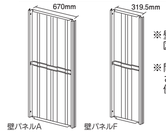


ワンポイント
ボルト固定孔が合いにくい場合は屋根の固定ボルトを緩めると合わせやすくなります。
※緩めた場合は壁パネル取付け後に締め直してください。



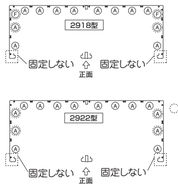
注意
壁パネルと下枠に三角形状のすきまが発生したり隣同士の棚受け取付けの角孔が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の違ちを確認してください。

壁パネルの種類



※壁パネルに上下の区別はありません。
※間仕切り部には高さの低いパネルを使用します。

壁パネルの取付位置



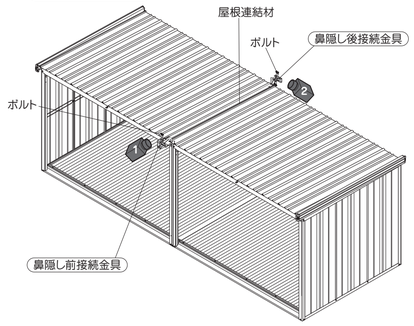
○部分のパネルが入りにくい場合は、パネルの上部をもやの切欠き部に逃げて下を先にはめ込んでください。

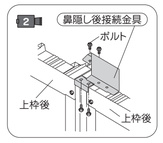
16 鼻隠し接続金具の取付け

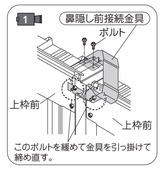
注意 トイ（オプション）を取り付ける場合は「オプショントイセット」の組立説明書を先にお読みください。

	2918型	2922型
使用梱包	LO5-6153	
使用ボルト数	6本	

①（鼻隠し前接続金具）を屋根連結材の前端部と上枠前にボルト止めします。上枠前のボルトは一旦ゆるめて鼻隠し前接続金具の下部切欠きをひっかけてボルトを締め直します。1
②（鼻隠し後接続金具）を屋根連結材の後端部にボルト止めします。2





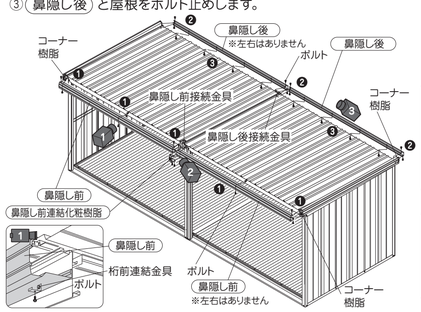


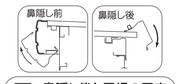
このボルトを緩めて金具を引っ掛けて締め直す。

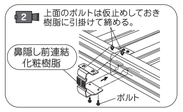
17 鼻隠しの取付け

	2918型	2922型
使用梱包	LO5-6153	
	LM5-1107	
使用ボルト数	26本	

①（鼻隠し前）をコーナー樹脂、鼻隠し前接続金具にかぶせるように取付け、ボルト止めします。中央部分は桁前連結金具とボルト止めします。
連結部分は（鼻隠し前連結化粧樹脂）を上からかぶせてボルト止めします。1 2
②（鼻隠し後）をコーナー樹脂、鼻隠し後接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。3
③（鼻隠し後）と屋根をボルト止めします。



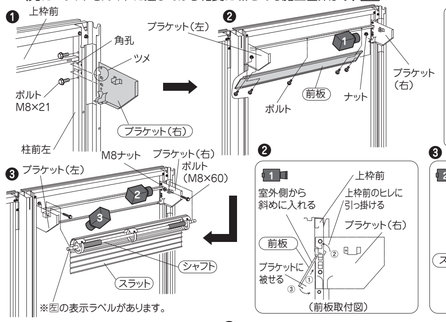




18 ブラケット・前板・シャフトの取付け

	2918型	2922型
使用梱包	LO5-1761	
使用ボルト数	M8×21 8本	
	M6×15 10本	
	M6ナット 4ケ	
	M8×60 4本	
	M8ナット 4ケ	

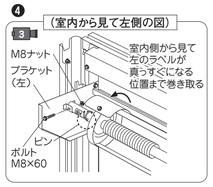
①（ブラケット左右）のツメを柱前左右、中柱前の角孔部に引っ掛けてボルト止めします。
②（前板）を下図のように室外側から斜めに入れ、上部は上枠前に引っ掛けてボルト止めします。下部はブラケットにかぶせてボルトとナットで固定します。1
③室内側から（シャフト）を軸受に載せ、（スラット）をブラケットのガイドに通します。
（先にスラットをガイドに通してから軸受に載せても施工出来ます）2



注意
シャッター部材の㋺・㋩の表示は室内から見た位置を示しています。

スラットがガイドに通っているか確認してください。

④シャフトの左側のラベル（左と表示）が室内側に真っ直ぐになる位置までスラットを巻き取り、巻き取った状態で軸にボルトM8×60を貫通させ、ナットM8で固定します。3
※ボルトM8×60とナットM8はブラケットの軸受に仮止めしてあります。

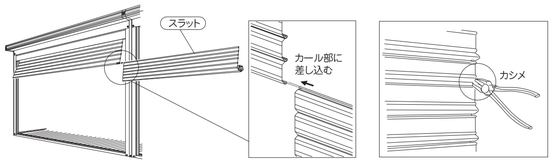


⚠警告
この状態では、ピンを絶対にはずさないでください。ピンをはずすとシャフトが急回転して非常に危険です。
シャフトの（左）（右）を確認してください。逆さに取付けると、シャフトが逆回転して非常に危険です。

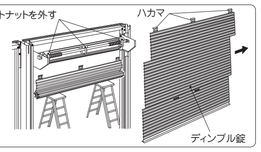
19 シャッタースラットの取付け

	2918型	2922型
使用梱包	LO5-1762	
使用ボルト数	0本	

①上から（外錠付スラット）→（水切り付スラット）の順に室外側から差し込み、継ぎ目の両端をペンチ等でかしめて固定します。

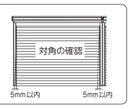


注意
スラットは、3分割されておりシャフトを取り付けた後、左（又は右）から順次差し込んで行くようになっています。差し込むスペースがない場合は、ハカマを取付けているボルトをはずし、スラットを一体にしてからシャフトに取付け直してください。



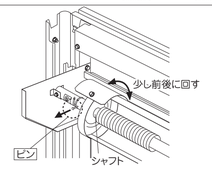
②スラットをおろし柱とゆがみがないか確認してください。

注意
柱の傾きが5mmを越えるとシャッターの開閉に、支障をきたす場合がありますのでサゲフリ等で寸法の確認を必ず行ってください。
尚、レール間ピッチも上下とも5mm以内で施工してください。
柱が広すぎると鍵がかからなくなるだけでなく、強風時にスラットがレールから抜ける場合があります。



③スラットをおろした状態でシャフトを少し回転させ、写真のピンを抜きとります。

⚠警告
スラットの取付けが完了してからピンをはずして下さい。完了する前にピンをはずすとシャフトが急回転し非常に危険です。
またピンは組立後、お客様にお渡しください。

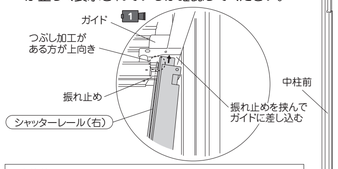


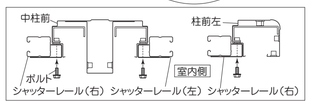
20 シャッターレールの取付け

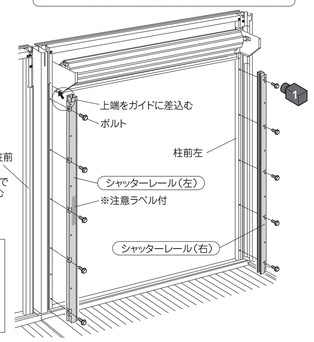
	2918型	2922型
使用梱包	LO5-1761	
使用ボルト数	20本	

①スラットをブラケットのガイドに通しながら巻き上げます。
②（シャッターレール）の上部（つぶし加工あり）をブラケットのガイドに差し込み、下の断面図のように柱に沿わせてボルト止めします。1
※シャッターレール左に貼ってある注意ラベルが正しく表示されているか確認してください。

注意
シャッターレールには上下左右がありますので、間違えないようにしてください。



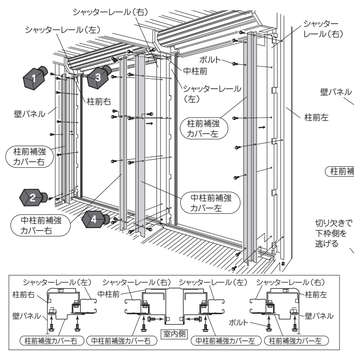


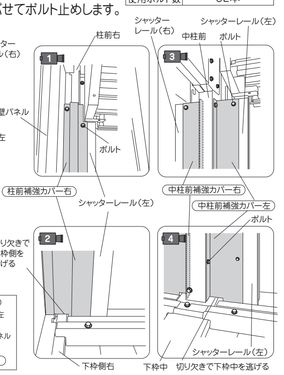


21 柱前補強カバーの取付け

	2918型	2922型
使用梱包	LO5-0413	
	LO5-6413	
使用ボルト数	32本	

①（柱前補強カバー左右）を柱前とシャッターレールに下図のようにかぶせてボルト止めします。
②（中柱前補強カバー左右）を中柱前に下図のようにかぶせてボルト止めします。



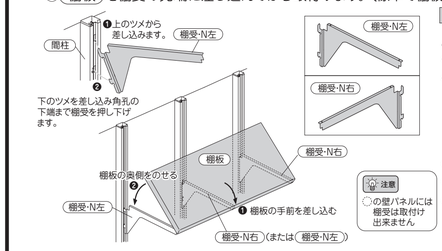


22 棚板の取付け

注意 棚板は制限重量を表示している面が正面に見えるように取付けてください。

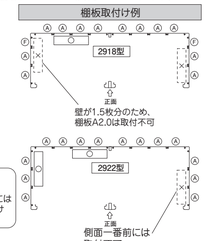
	2918型	2922型
使用梱包	LM5-1903	
使用ボルト数	0本	

①（棚受）を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
②（棚板）を棚受の先端に差し込んでから取付けます。（標準で棚板A2.0が2枚付いています。）



注意
○の壁パネルには棚受は取付け出来ません

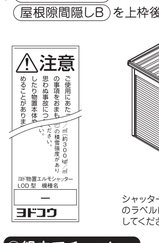
棚板取付け例

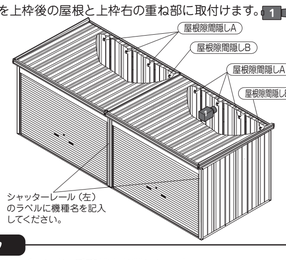


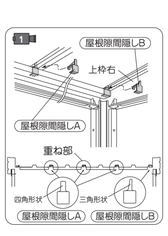
23 その他部品の取付け

	2918型	2922型
使用梱包	LO5-0163	
	LO5-6153	
使用ボルト数	0本	

①シャッターレール（左）の注意ラベルに"機種名"を、記入します。
②（屋根隙間隠しA）を上枠後の屋根の重ね部に、（屋根隙間隠しB）を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。1







○組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。
①シャッターがスムーズに開閉するかご確認ください。
②鍵が正常に作動するかご確認ください。
③棚板の配置確認をしてください。
④**機種名が記入されたか確認してください。（シャッターレール裏面の注意・警告ラベル）**
⑤ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。
⑥施工業者の方は、シャッターピンと取扱説明書と保証書をお客さまにお渡ししたか確認してください。

チェック欄

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ　シャッターピン、取扱説明書、保証書は大切に保管してください。
施工業者の方へ　上記と併せて、本書も必ずお客様にお渡しください。

(LOD(S)-2918HF-2922HF)
ヨドコウ
LOD-2918_HF_NR_KS_2025A